

最終更新日： 2024年2月6日

授業科目名 (講義題目)	産学連携マネジメント (QREC科目「起業価値評価(特論)」)		開講学期	後期
			曜日時限	土曜 4・5限
			単位数	2
担当教員名	高田 仁	講義コード	科目区分	対象学生
		24176115	選択	1年生/2年生
開講予定日	①②10/5 ③④10/19 ⑤⑥11/2 ⑦⑧11/16 ⑨⑩11/30 ⑪(2コマ) 12/14 ⑫⑬1/11 ⑭⑮1/25			
履修条件	MOT関連科目だが、理系のバックグラウンドは必須ではない。企業戦略、イノベーション・マネジメント等を履修しておくことが望ましい。	キーワード	技術経営(MOT)、産学連携、技術移転、科学技術商業化、知的財産	
全体の教育目標	産学連携を体系的に理解し、大学や公的研究機関が保有する科学技術成果を活用した事業化に必要な知識とスキルを修得する。	個別の学習目標	様々な産学連携の局面においてwin-winを実現するマネジメント手法について学ぶとともに、演習を通じて実践的スキルを習得する。	

授業の概要	<p>知識経済では、自前主義に固執することなく外部資源の導入を選択肢に持つことは重要な戦略のひとつである。このとき、大学や公的研究機関との連携によって目的を達成することを戦略の中心に据える例も近年増加している。翻って大学においては、研究成果の社会普及がミッションのひとつに位置づけられ、各所で産学連携への取り組みが活発化している。</p> <p>本講義では、近年注目を集めている産学連携について、その目的や意義、効果などについて学ぶ。具体的には、国内外の具体的な事例を取り上げながら、萌芽的段階にある科学技術の事業機会を評価し(Idea Evaluation)、事業化のポイントを理解するとともに、実務的に求められる知財のライセンスや共同研究、大学発ベンチャー創出等の実践的知識、産学連携スキームの構築手法、利益相反のマネジメント手法などを習得し、産学連携を成功に導くスキル修得を目指す。</p> <p>また、Quicklookと呼ばれる科学技術商業化ツールを活用し、大学や公的研究機関が保有するシード技術にもとづく事業機会の評価(Idea Evaluation)や市場参入戦略立案の演習を行う。</p> <p>本講義は、外部技術の導入によって新規事業を立ち上げる企業経営者や新規事業担当者、起業家、大学産学連携部門・TLO等のスタッフ、地域の産学官連携を支援する行政マンを対象とする。</p>		
授業の最新情報 案内方法	・九州大学Moodle		
授業形態	<ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習 ・グループワーク ・プレゼンテーション ・ディスカッション 	使用する教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料(電子媒体) ・その他(ケース教材)

授業の進め方	<p>全15回の講義の半分は、知財や技術移転、共同研究、大学発ベンチャーと利益相反マネジメントなど、産学連携に関する基礎知識を学ぶ。残る半分は、シード技術の探索と評価、市場参入のシナリオ作成を含む演習を行う。なお、本演習は、九州大学等が現有する技術シードを用いた実践的なものとなる。※本講義は、QREC経由でQBS以外の大学院生が受講する場合がある。</p>
教科書及び 参考図書	<p>必要な資料は都度配布。参考図書としては下記が挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ビジネスクリエーション（ビル・オーレット著、2014年、ダイヤモンド社）¥2,750 ○アイデア・エバリュエーション（S・オーレンゲ著、松永正樹訳、2017年、九州大学出版会）¥2,200 ●理工系のための特許、技術移転入門（隅蔵康一著、2003年、岩波書店） ●TLOとライセンスアソシエイト（渡部俊也、隅蔵康一著、2002年、株式会社BKC）
試験・成績 評価の方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・平常点・・・・・・・・・・50%（課題の提出、授業での発言等） ・Quicklook演習点・・・・・・・・50%（発表会の得点、最終レポート評点にもとづき、貢献度に応じて加点）